



館蔵
品展 **絵画は**

告発する

●特別展示＝板橋の日本画

2017年 〔観覧料無料〕

4月8日(土)から

6月18日(日)まで

板橋区立美術館 ●休館日＝月曜日

●開館時間＝9時30分から17時(入館は16時30分まで)

●住所＝〒175-0092 東京都板橋区赤塚5-34-27

●電話＝03-3979-3251 ●テレフォンサービス＝

03-3977-1000 www.itabashiartmuseum.jp

だれでもちよつと
のぞいてみたくなる
だれでもちよつと
つくってみたくなる
そんなたのしい



ITABASHI ART MUSEUM



館蔵 絵画は告発する 特別展示 板橋の日本画

板橋区立美術館では開館以来、池袋モンパルナス界限に集まった画家や板橋に暮らす画家の作品を収集、展示してきました。これらの中には、日本の社会状況を反映した作品があります。

1920、30年代に最盛期を迎えたプロレタリア運動は美術界にも広まり、労働者や指導者の姿を描いた作品が発表されました。この運動を目のあたりにした井上長三郎は社会に鋭い眼差しを向け、満洲事変を発端とした戦争の時代の雰囲気や波みとった絵画を発表します。戦時中、画材や表現に制限がある中でも、井上や彼が結成した新人画会の仲間たちなどは、画家自身の信念に沿った作品を発表しました。

戦後、日本の美術界では海外の美術作品が次々と紹介され、自由な表現や発表の場が誕生するなど目まぐるしく展開します。その中で「ルポルターージュ絵画」と呼ばれる同時代の日本の姿を描き出した絵画が発表されます。山下菊二や中村宏らによる作品は基地闘争をはじめ混沌とした戦後の社会問題を取り上げ、絵画を通じて事件の核心に迫ろうとしました。

時代と対峙した作品は、社会問題を告発するかのよう力強く私たちに訴えかけてきます。今回はコレクションの中から社会や事件をテーマにした作品を紹介し、画家たちによる告発を読み解きます。

○出品作家(五十音順) 芥川(間所) 紗織 麻生三郎、阿部展也、池田龍雄、石井茂雄、井上長三郎、井上照子、大塚睦、桂川寛、国吉康雄、佐田勝、白木正一、末松正樹、杉本鷹、高山良策、寺田政明、中村宏、難波香久三、浜松小源太、早瀬龍江、尾藤豊、古沢岩美、堀田操、村上善男、山下菊二、吉岡憲

また、「板橋の日本画」と題して当館が所蔵する日本画家の作品を特別展示いたします。

○出品作家(五十音順) 今井珠泉、佐藤太清、西沢笛畝、平山郁夫

●右(カウントのある風景) 村上善男、1954-55年 ●上段右から《自画像》末松正樹、1944年/《祀られる戦士》山下菊二、1967年(寄託作品) ●下段右から《顔のうしろの顔》阿部展也、1957年/《血井(I)》中村宏、1962年/《冬池》佐藤太清、1955年 ●表面《議長席》井上長三郎、1971年、寄託作品以外は板橋区立美術館収蔵作品

【交通案内】

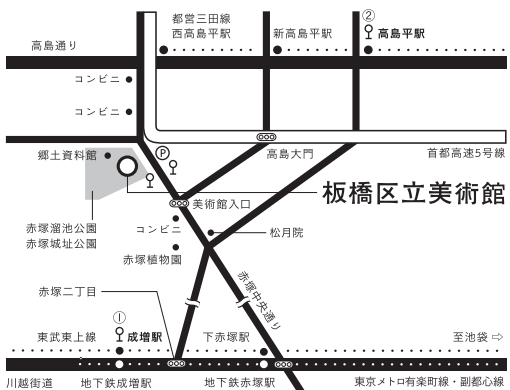
- 徒歩 都営三田線「西高島平駅」下車 徒歩13分
- 路線バス(1時間に1〜2本程度) 所要時間約10分 ①東武東上線「成増駅」北口2番のりば ②増17区立美術館経由 高島平操車場 行き ③区立美術館 下車 ※東京メトロ有楽町線・副都心線「地下鉄成増駅」5番出口も利用可 ④都営三田線「高島平駅」西口2番のりば ⑤増17区立美術館経由成増駅北口 行き ⑥区立美術館 下車
- タクシー 東武東上線「成増駅」北口 または都営三田線「高島平駅」西口より約5分

時刻	平日	土	日・祝
9	17 48	24 48	32 55
10	24	24	24
11	00 36	00 36	00 36
12	12 48	12 48	12 48
13	24	24	24
14	00 36	00 36	00 36
15	12 48	12 48	12 46
16		20	20

(2014年2月16日改定)

時刻	平日	土	日・祝
9	13 53	15 51	31 53
10	27	27	27
11	03 39	03 39	03 39
12	15 51	15 51	15 51
13	27	27	27
14	03 39	03 39	03 39
15	15 51	15 51	15 51
16		23	23

(2014年2月16日改定)



【関連イベント】

●記念講演会 6月10日(土) 14時より15時30分 「絵画に託されたメッセージを読み解く」 講師 大谷省吾氏(東京国立近代美術館美術課長) 当館1階講義室にて、申込不要、聴講無料、先着100名、当日会場へ直接お集まりください。

●ギャラリートーク 4月8日(土)、5月6日(土) 展示作家、作品について担当学芸員がお話しします。いずれも14時より50分程度、参加無料、当日展示室ロビーへ直接お集まりください。

●親子でたのしみギャラリートーク 4月15日(土) 絵の中に描かれたモノや形に注目して、担当学芸員が参加者とお話をしながら作品を鑑賞します。いずれも10時より30分程度、参加無料、当日展示室ロビーへ直接お集まりください。

●板橋区立美術館の展覧会予定 2017イタリヤ・ポロニア国際絵本原画展 4月7日(土)から8月13日(日) 「館蔵品展 江戸の花鳥画」 4月9日(土)から10月9日(月・祝) 「世界を変える美しい本 インド・タラブックスの挑戦」 4月11日(土)から2018年1月8日(月・祝) 「東京けいせいの池袋モンパルナスとニシムイ美術館」 4月20日(土)から4月15日(日)